

平成29年度事業計画について
(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

【1. 特定非営利活動に係る事業】

(1) 事業の成果

平成29年度より3年間、第3期目の川崎市地球温暖化防止活動推進センター（以下、「川崎市センター」という。）の企画・運営を川崎市より指定された。今までの6年間の経験と実績を踏まえて、民生部門のCO₂ 40%削減に向けて、第3期目はさらに内容を充実させ地域に着実に根付いていくことを目標とする。また、平成29年度から5年間、小黒恵子童謡記念館の運営を行うことに決まったので、「アート&エコロジー」を目指し、自然豊かな「場」を生かし、自然環境を学ぶフィールドとして活用していく予定である。

「CO₂削減」「地球温暖化防止」はもとより、SDGs（持続可能な開発目標）を視野に入れ、川崎市が打ち出している三つの柱「CCかわさきエコ暮らし」（低炭素、資源循環、自然共生）を実施するためにも、今まであまり交流のなかった他ジャンル、他分野の団体との連携にも力を入れていく。

(2) 事業内容

1) 環境保全に係る普及啓発及び相談助言

①交流コーナーを活用した相談対応、普及啓発等に係る業務（地球温暖化対策協働推進に関する業務事業）

内 容	交流コーナー管理運営、地球温暖化対策に関する情報・資料・機材等の提供、交流コーナーを活用した普及啓発など		
日 時	2017年4月1日～2018年3月31日（通年）		
場 所	CCかわさき交流コーナー	従事者人員	11人
対象者	川崎市民	費 用 額	6,000千円 *1

注) *1+*2+*3+*4+*5=千円

②低炭素ライフスタイル構築に向けた診断促進事業

内 容	うちエコ診断実施機関として認定、うちエコ診断士の登録・研修、各家庭における温室効果ガス排出状況に応じた個別アドバイスなど		
日 時	2017年4月1日～2018年3月31日		
場 所	川崎市内	従事者人員	13人
対象者	川崎市民、東京都民 100家庭	費 用 額	700千円

③エコぶらっとC³事業（地球温暖化対策協働推進に関する業務事業）

内 容	川崎市施設及び工場見学会、市民と企業（事業者）による連携推進		
日 時	2017年 夏、秋		

場 所	川崎市内の事業所 ほか	従事者人員	10人
対象者	川崎市民（親子、他）	費 用 額	100千円 *2

④ 二酸化炭素排出抑制対策事業

内 容	地球温暖化対策に関する情報・資料・機材等の提供、地球温暖化対策に関する相談・普及啓発など		
日 時	2017年5月（補助金交付決定日）～2018年2月29日		
場 所	CCかわさき交流コーナーほか	従事者人員	11人
対象者	川崎市民	費 用 額	3,500千円

2) 環境保全活動を行う個人・団体の支援並びに交流及び連携の推進

①推進員の活動支援等に関わる業務（地球温暖化対策協働推進に関する業務事業）

内 容	推進員研修・交流会の開催、データベース作成など		
日 時	2017年4月1日～2018年3月31日（通年）		
場 所	CCかわさき交流コーナー、高津市民館ほか	従事者人員	3人
対象者	川崎市地球温暖化防止活動推進員 77人	費 用 額	1,400千円 *3

②地域における地球温暖化防止実践活動の推進に係る業務（地球温暖化対策協働推進に関する業務事業）

内 容	プロジェクト連絡調整会議開催運営、モデル事業への支援、イベント参加時の協力		
日 時	2017年4月1日～2018年3月31日（通年）		
場 所	CCかわさき交流コーナー、川崎市内各イベント会場	従事者人員	11人
対象者	川崎市民、川崎市地球温暖化防止活動推進員プロジェクトグループ	費 用 額	1,500千円 *4

③二酸化炭素排出抑制対策事業

内 容	川崎市内の環境活動市民団体冊子配布、ホームページでの紹介		
日 時	2017年5月（補助金交付決定日）～2017年2月29日		
場 所	CCかわさき交流コーナー	従事者人員	5人
対象者	川崎市民	費 用 額	300千円

④家庭のエコ支援業務事業

内 容	他地域（神奈川県、東京都）におけるイベント等のうちエコ診断士派遣		
日 時	2017年4月～2018年3月		
場 所	川崎市、神奈川県内、東京都内	従事者人員	5人
対象者	川崎市民 他	費 用 額	150千円

3) 多様な主体間の連携推進、行政とその他主体との協働の推進

① 地球温暖化防止活動ネットワーク連携強化に係る業務（地球温暖化対策協働推進に関する業務事業）

内 容	CC川崎エコ会議の運営・開催補助、川崎市地球温暖化防止活動推進センター運営会議の運営・開催、CCかわさきホームページの運営、メールマガジンの発行など		
日 時	2017年4月1日～2018年3月31日（通年）		
場 所	CCかわさき交流コーナー、川崎市役所、 てくのかわさきほか	従事者人員	6人
対象者	CC川崎エコ会議メンバー、川崎市民	費 用 額	1,000千円 *5

② 地球温暖化対策啓発イベント事業

内 容	「夏休み！たまエコフェスタ」の企画・運営・開催、地球温暖化対策パネル展		
日 時	2017年8月		
場 所	多摩区役所	従事者人員	3人
対象者	川崎市民（多摩区民）	費 用 額	450千円

③ かわさき環境フォーラムの開催

内 容	市民・事業者・学校・行政が一同に会して行う各種交流、大人も子どもも学べる、楽しめる環境出前授業や環境体験工作などを実施		
日 時	2017年12月16日		
場 所	高津市民館11階、きらりデッキ、	従事者人員	11人
対象者	川崎市民	費 用 額	300千円

④ かわさきFMと連携したCOOL CHOICE推進事業

内 容	かわさきFMが環境省補助事業「地域コミュニティを活用した地球温暖化対策啓発事業」を活用してCOOL CHOICEの広報番組を放送するにあたり、川崎市内の事業者、市民団体との連携を補助するとともに、番組制作のアドバイスを行う事業		
日 時	2017年6月1～2018年2月28日		
場 所	川崎市内	従事者人員	3人
対象者	川崎市民	費 用 額	500千円

⑤ 川崎市民を対象としたCOOL CHOICE普及啓発活動

内 容	川崎市環境局が環境省補助「地方公共団体と連携したCO2排出削減促進事業」を活用して、川崎市民を対象にしてCOOL CHOICE普及啓発活動を行うにあたり、7区役所、イベント会場、住宅展示場等で川崎市民に対して行う地球温暖化対策の普及啓発活動		
-----	--	--	--

日 時	2017年6月1～2018年2月28日		
場 所	川崎市内	従事者人員	15人
対象者	川崎市民	費 用 額	3,000千円

4) 環境学習・環境教育の企画運営及び環境保全活動の指導者育成

① 川崎市地域環境リーダー育成講座企画運營業務

内 容	全講座の企画・運営・実施及び修了後のスキルアップ・交流会開催など		
日 時	2017年6月～11月(全10回)		
場 所	高津市民館、ほか	従事者人員	8人
対象者	川崎市民 受講生20名	費 用 額	1,000千円

② 「環境ゲームでSTOP地球温暖化!!」 「川崎市内の環境の取り組み」を使った出前授業

内 容	講座の企画・運営・実施など		
日 時	2017年		
場 所	川崎市内小学校	従事者人員	3人
対象者	川崎市内小学生	費 用 額	0円

③ うちエコ診断士養成研修に関わる業務

内 容	うちエコ診断士の養成研修など		
日 時	2017年7月～8月		
場 所	愛媛県、大阪市、名古屋市	従事者人員	2人
対象者	うちエコ診断士予備メンバー	費 用 額	500千円

5) 環境保全に係る調査研究及び情報提供

① 二酸化炭素排出抑制対策事業

内 容	温室効果ガス排出抑制等のための照会・相談・助言、排出実態の把握、分析など		
日 時	2017年4月～2018年3月(通年)		
場 所	川崎市内、CCかわさき交流コーナー	従事者人員	6人
対象者	川崎市民	費 用 額	500千円

6) 伝統文化等に係る活動の推進及び普及啓発

① 小黒恵子童謡記念館運営

内 容	小黒恵子童謡記念館運営、童謡の普及啓発、自然環境を使って講座開催など		
日 時	2017年4月～2018年3月		
場 所	小黒恵子童謡記念館	従事者人員	14人
対象者	川崎市民	費 用 額	24,863千円

7) 子どもの健全育成に係る活動の推進

①小黒恵子童謡記念館における子ども向け事業

内 容	小黒恵子童謡記念館を使って子ども向けの「自然、音楽」体験イベント、講座を開催		
日 時	2017年4月～2018年3月（数回）		
場 所	小黒恵子童謡記念館	従事者人員	20人
対象者	川崎市民	費 用 額	500千円

②こどもエコちゃんずクラブの実施

内 容	毎月、異なるテーマで環境講座等を実施。講座、体験講座、実験、宿泊体験等。		
日 時	2017年4月～2018年3月		
場 所	高津市民館、川崎市内	従事者人員	15人
対象者	川崎市、川崎市民	費 用 額	100千円

8) 持続可能な開発目標（SDGs）の推進

① SDGs をテーマにした講座の開催

内 容	SDGs についての展示を行うとともに、事業者向け、市民向けの講座を開催		
日 時	2017年4月～2018年3月（2～3回）		
場 所	高津市民館	従事者人員	4人
対象者	川崎市民、川崎市内の事業者	費 用 額	0円

9) 行政や社会への提案・助言

① 次世代エネルギーワークショップ

内 容	30年後のエネルギー選択を、若い世代が専門家によるレクチャーと質疑応答を経て、議論・熟慮し、概ね2050年における日本社会の姿及びエネルギー構成を選択するワークショップの開催		
日 時	2017年12月3～4日		
場 所	川崎市内	従事者人員	3名
対象者	川崎市民 40名	費 用 額	900千円

【2. その他の事業】

(1) 物品販売

内 容	環境をテーマとしたグッズの販売（Tシャツ、缶バッジ、ストラップ、手帳など）		
日 時	2017年		
場 所	川崎市内、各イベント会場	従事者人員	5人
対象者	川崎市民		